

# 令和2年度 第1回武蔵野市産業・経済政策懇談会 要録

日時：令和2年4月15日（水）11：00～

場所：市役所西棟8階811会議室

委員：稲垣英夫（武蔵野商工会議所会頭）、花俣延博（武蔵野市商店会連合会会長）、宮崎賢（多摩信用金庫吉祥寺支店支店長）、笹井肇（武蔵野市副市長）

オブザーバー：松下玲子（武蔵野市長）

## ◆合意事項

- ・外出自粛要請について、看板・横断幕等で駅周辺及び商店街等にて周知徹底を図る。
- ・吉祥寺駅周辺での感染拡大防止を徹底するため、行政・関係機関・事業者が連携し、週末の外出自粛の呼びかけを実施する。
- ・武蔵野商工会議所及び武蔵野市商店会連合会に対し、市長名にて、感染症拡大防止に関する協力依頼を行う。

## ◆協議事項

- ・市内店舗における営業時間、営業方法の変更による感染拡大防止策の検討について
- ・既存の融資制度における融資上限額や利子補給期間等の拡大について
- ・小規模事業者持続化補助金の事業者負担分の助成について
- ・マル経融資の利子補給期間の延長について

## ◆意見・情報交換

- ・駅利用者数等を調査したところ、通常より約7割減となっており、来街者は減少していると考えられるが、ドラッグストア等を含む商店街には人が集中している。営業中の店舗に対しては、混雑を抑制するための販売方法を検討する必要がある。
- ・市内駅周辺に住宅圏があるため、公共交通機関を利用しての来街者は減少しているが、生活経済圏からの来街者は多く存在する。
- ・休業中も家賃の支払いをしなければならないため、事業者には大きな負担となっている。
- ・市役所、商工会議所、金融機関の窓口では、融資の相談が殺到している。今後、さらに増加することが見込まれるため、融資の審査等にもスピード感が求められる。
- ・今後、当該感染症が終息に向かった際、消費活動が活発化するには一定の時間を要すると考えられるため、消費活動の促進策についても合わせて検討していく必要がある。
- ・新規の融資制度を新設するよりは、既存の融資制度の改正（限度額の引き上げ等）がよい。
- ・固定資産税の減免について検討してほしい。